

## 公民連携の1年間の取組み効果（令和元年度）

### ◆ 包括連携協定締結数

**9件**（累計48件59社4大学）



### ◆ デスクがコーディネートした 企業・大学と部局との連携数

**396件**（平成30年度：328件）

### ◆ ネットワーク企業数

**738社**（累計）

### ◆ 直接的効果額

（「仮に府が直接実施した場合に必要な金額」を試算）

**2億9000万円**（平成30年度：2億3,000万円）

### ◆ 公民連携を拡げる取組み

公民連携フォーラム、創発ダイアログ（※）の開催、OSAKA愛鑑、市町村連携の拡大（公民連携窓口の設置、市町村チャンネル）

※公民連携で解決すべき行政課題をテーマに設定し、複数の事業者（公・民）間による対話から様々なアイデアを生み出す公民連携の新たな仕組み

## 公民連携の取組みによる直接的効果額（令和元年度）

類 型	概 要	概算額 (千円)
企業のもつネットワーク や広報媒体を活用し た府政のPR 【203,149千円】	りそな銀行によるATM画面やメルマガを活用した府政のPR	63,572
	大阪信用金庫による店舗内モニターやメルマガを活用した府政のPR	22,864
	関西ぱどによる刊行誌（まみたん、家庭版ぱど、Eしごとぱど）での府政に関する記事の掲載	79,235
	ハークスレイによる本社屋上のデジタルサイネージ「HOKKA VISION」や機関誌を活用した府政のPR	9,600
	FC大阪によるインターネットTV（大阪府チャンネル）やボイスメディアをはじめとする「OSAKA愛鑑」における府政のPR	12,920
	上記の他、大塚製薬の熱中症対策・朝食欠食改善等の啓発ポスターの作成及び小売店等での掲示、損保ジャパン日本興亜のアスマイルPR看板の製作及び設置、キンビールのG20大阪サミットと連携したポスターの作成及び配布、各広報媒体を活用した府政情報の発信（いずみ市民生協の機関誌及びメルマガ、上新電機の店頭掲示、積水ハウスの広報誌、三井不動産・日産大阪販売の店頭サイネージ、エフエムちゅうおうのラジオ番組・CM、大阪バスの車内アナウンス、セルビスの機関誌）など	14,957
企業からの協賛 ・寄附等 【72,676千円】	いずみ市民生協等による府内乳児家庭に対する「はじまるばこ」の配布や府主催イベントへの協賛	27,028
	FC大阪による府営服部緑地陸上競技場における芝生の整備・維持管理への協力や移動式ベンチ等の寄贈 など	31,900
	小林製薬による府主催イベントへの協賛や健活10・アスマイルのPR冊子の作成及び提供	4,367
	ダイードリンクによる府主催イベントへの協賛や放課後子ども教室、府立支援学校等へのペーパークラフト自動販売機の寄贈	1,691
	上記の他、ローソンの商品販売個数に応じた「子ども輝く未来基金」への寄附、リコージャパンのラグビー観戦や積水ハウスの体験プログラム（ダイアログ・イン・ザ・ダーク）への招待、大阪信用金庫のキャラクターコラボレーション手帳の作成、大阪地区トヨタ各社の反射材キーホルダーの作成、ミズノのG20大阪サミット・2025日本国際博覧会のロゴ入りポロシャツの提供、アサヒビールの百舌鳥・古市古墳群デザインラベル缶の作成及び販売個数に応じた寄附、関西みらい銀行のCSR私募債を活用した府基金等への寄附、グロウの子ども服の寄贈、USJのキッズフリーキャンペーンの開催や学習機材・遊具の寄贈等、アスマイル事業への協力（損保ジャパン日本興亜のパネルシートの作成、キンビール・味の素のウォーキングイベントへの商品提供、グンゼ・LAVAのアスマイルアプリのクーポン配信）、府主催イベント・事業への商品協賛（セブン-イレブン・ジャパン、不二製油、グンゼ、キンビール、キンビバレッジ、リコージャパン、積水ハウス、カゴメ、アサヒビール、ネスレ日本、大栗紙工、象印マホービン）、府主催イベントへのブース出展等の協力（カゴメ、ネスレ日本）など	7,688
会場の提供や イベント企画等 【11,952千円】	府主催・共催事業への会場提供やイベント企画等（イオン、りそな銀行、損保ジャパン日本興亜、東京海上日動、近畿大学、立命館大学、三井不動産、フェイスブックジャパン、テレビ大阪エクスプロ、阪大微生物病研究会、阪南大学、RIZAP）	11,952

### 【本効果額にあたっての留意事項】

- ・デスクが関わった取組みについてのみを対象としており、今年度中に大阪府と企業が連携した全取組みを掲載しているものではない。
- ・金額は、「仮に府が直接実施した場合に必要な額」で企業の子承を得たものについて掲載している。

**上記の合計287,777千円**

# 公民連携によって創出された府民、地域社会に対するサービス（主なもの）

【資料】

分野	項目	概要
子ども・福祉	子ども達への多様な体験の機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>FC大阪によるサッカー教室等の実施、NTTドコモによるNTTドコモ南港ビルへの招待、リコージャパンや明治安田生命によるスポーツ観戦の招待、積水ハウスの体験プログラム（ダイアログ・イン・ザ・ダーク）への招待、USJによるパークへの招待</li> <li>「放課後子ども教室」における、企業による多種多様なプログラムおよび教材キットの提供（新たに6プログラム追加）</li> </ul>
	上記の他、様々な支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>損保ジャパン日本興亜や東京海上日動による子ども食堂への寄贈（学習ノート、乾パン）</li> <li>社内やイベントでの障がい者が生産する製品（こさえたん）の販売協力（大阪地区トヨタ各社、リコージャパン、ANA）</li> <li>オレンジリボンやヘルプマークの普及啓発への協力（りそな銀行、三井住友海上、東京海上日動、日本生命、住友生命、あいおいニッセイ、キリン堂）</li> </ul>
健康・働き方改革	大学と連携した取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>府内複数大学における健康キャンパス・プロジェクト（喫煙・歯の健康・食と健康に関するセミナー等）での連携</li> </ul>
	府民の健康に関する啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>FC大阪やLAVA等によるイベントでの健活10・アスマイル等のPRに対する協力</li> <li>小林製薬による「おおさか健活LIFE」作成に対する協力</li> <li>上記の他、企業の広報ツール（サイネージ、メルマガ、情報誌、SNS等）を通じた、感染症（風しん・新型コロナウイルス等）予防対策、アスマイル、V.O.S.（野菜たっぷり・適塩・適油）メニュー等、府民の健康づくりへの啓発</li> </ul>
	働き方改革・健康経営プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Well-Being OSAKA Lab」(R2.3月時点で157団体が参画) での企業主体のセミナー等の開催（12回、参加延べ人数：1,281名）</li> </ul>
安全・安心	防災・防犯の協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>損保ジャパン日本興亜、日産大阪販売による子ども110番運動への協力、アサヒビールによる道路異常発見時の報告への協力</li> <li>ハークスレイ、上新電機等による店舗での動画放映・POP掲示・チラシ配架による特殊詐欺被害防止の啓発、オリックス・パファローズによる飲酒運転撲滅ポスター作成への協力</li> <li>大学コンソーシアム大阪による大阪880万人訓練の周知協力、ANAによる災害多言語情報ウェブサイトアプリ「Osaka Safe Travels」の周知協力</li> </ul>
雇用・中小企業振興	支援学校等の生徒を対象とする就労支援研修、職場実習の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>セブン-イレブン・ジャパンによる支援学校等の生徒を対象とした接遇やレジの扱い方等、職場研修の実施（生徒48名、教員等25名参加）</li> <li>D&amp;Iによる支援学校の生徒及び保護者を対象とした職場体験実習（生徒20名、保護者20名参加）・テレワーク実習（生徒5名参加）への協力</li> <li>障がい者雇用@創発ダイアログの開催（41名参加。ダイアログから生まれた取組み：リコージャパンによる障がい者雇用セミナー）</li> </ul>
	中小企業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイスブックジャパンによるライブ配信での中小企業向けセミナーの開催（ライブ配信63万推定リーチ）</li> </ul>
	女性の活躍推進への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>OSAKAしごとフィールドやドーンdeキラリフェスティバルにおける専門的知識や先進事例を通じた、働く女性にとってのスキルアップやセルフケア、悩み解消につながるセミナー等の開催（参加延べ人数：78名、実施企業：協和キリン、明治安田生命、カゴメ、ANA、ぶちでガチ！育休MBA）</li> </ul>
環境	環境保全・循環の取組みへの協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローソンによる海ごみ対策啓発ポスターの掲示への協力</li> <li>環境@創発ダイアログの開催（49名参加。ダイアログから生まれた取組み：府・市町村のイベントにおける猛暑・熱中症対策）</li> </ul>
地域活性化	地域活性化・魅力発信への協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローソンによるG20大阪サミット開催記念フェアの実施（ぶどうサンミー等：近畿2府4県2,400店舗、大阪産プレゼントキャンペーン）、セブン-イレブン・ジャパンによる大阪産（もん）を使った商品の開発及び店舗での販売（麻婆茄子丼：165店舗、麻婆茄子カレー：149店舗）</li> <li>ルート製菓によるレストランでの大阪産（もん）を使用したメニュー展開</li> <li>アサヒビールによる百舌鳥・古市古墳群デザインラベル缶の作成及び販売</li> <li>なにわ名物開発研究会やパンタンのOSAKAもの・ことづくりラボを通じた「新しいお土産づくり」や「100人ワークショップ」の開催</li> </ul>
府政のPR	企業のネットワークを活かした府政PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>ET-KINGのラジオ番組における新型コロナウイルス啓発の協力</li> <li>NTTタウンページの「タウンページ」における府政PRの協力</li> <li>店舗等で府政に関するポスター・ステッカー掲示やチラシ配架、企業主催イベントでの府政PRブースの設置等（ファミリーマート・NEXCO西日本・ヤマト急便・佐川急便・大阪大学・NTTドコモ・小林製薬・キリン堂・ソフトバンク・アカカベ薬局・第一興商 など）</li> <li>生命保険会社の営業職員による営業時における府政PRの協力（日本生命、第一生命、住友生命、大同生命、明治安田生命）</li> </ul>
市町村連携	市町村と連携した取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>FC大阪によるオリジナルインターネットテレビ（8市町村）の開設やOSAKA愛鑑イノベーションの開催（富田林市、阪南市、岸和田市）</li> <li>関西大学によるKADOMA中学生勉強会への大学生サポーター募集協力（門真市）</li> <li>キリン堂による市町村イベントへの講師派遣・ブース出展（松原市、阪南市、田尻町）、江崎グリコによる学童クラブへのお菓子の寄贈（富田林市）、グロウによる子ども服の寄贈（門真市、守口市）など</li> <li>富田林ドリームフェスティバルでの熱中症対策の機材・商品協賛等（富田林市：NTTドコモ、小林製薬、ダイドードリンコ、オリックス・パファローズ）</li> </ul>